

一斉学習 教師説明型

実践タイトル 図形の拡大と縮小の意味を資料からイメージしよう

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

PC

・自作したPC教材を提示する。

PC教材

・具体物の操作の後、イメージをより確かなものにするために自作したPC教材を提示し、興味・関心を促す。

参考にしてほしいポイント

- ・教科書だけでは理解しにくい、拡大縮小の意味を具体物を操作して実感するとともに、映像資料を提示することで視覚的に理解しやすくしたこと。
- ・三角形の図形の中に別画像を挿入し、拡大縮小がイメージしやすいように工夫した。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 10	<ul style="list-style-type: none"> ・合同な図形とはどんな図形だったかを振り返る。 ・黒板に三角形カードを提示し、課題把握する。 ・「大きさは違うけど、形が同じものを見つける」という本時のめあてを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・三角形カード(写真1)
展開 10 35	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大・縮小させた三角形のカードを操作し、同じだと思ふ形を見つける活動をする。 ・同じ形だと考えた図形について、ノートにふきだし形式で記入する。 ・記入したことをもとに、小グループごとに考えを交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・縦だけ拡大縮小している・横だけ拡大縮小している・両方とも拡大縮小している三角形カード(写真2)
まとめ 35 45	<ul style="list-style-type: none"> ・映像資料を活用して、拡大縮小の意味を理解する。 ・学習で分かったこと、思ったことなどを算数作文としてノートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デスクトップPC ・教科書を参考に作成した提示用資料(プレゼンテーションソフトウェア)(写真3)



写真1: 黒板に課題となる三角形カードを提示



写真2: 三角形のカードを操作しながら、同じ形だと考えたカードについて、自分の考えを交流



写真3: 拡大縮小がよりイメージできるように三角形の中に別画像を挿入した資料を提示

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・三角形が変形するだけでなく、三角形の中に挿入した画像が変形することで、縦だけ伸びている・横だけ伸びている・縦も横も大きくなったなど、大きさは違うが同じ形だと判断しやすかったようである。

活用効果

評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・算数への関心・意欲・態度 	具体的変容	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入段階であったため、拡大縮小のイメージを持つとともに、次時以降の学習への興味・関心も、算数作文の記述などから読み取ることができた。
-------	---	-------	--

実践の手応え

- ・児童の実態に合わせて、提示資料を作成することで知識・理解を促す教材を作成できた。